

B 景観形成基準措置状況説明書

落合の森保全地区	工作物の建設等
届出対象規模	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 擁壁 	高さ > 2 m
<ul style="list-style-type: none"> ・ 煙突、鉄柱、装飾塔、記念塔、物見塔その他これらに類するもの ・ 昇降機、ウォーターシュート、コースターその他これらに類するもの（回転運動をする遊戯施設を含む） ・ 製造施設、貯蔵施設、遊戯施設、自動車車庫（建築物であるものを除く）その他これらに類するもの 	高さ > 7 m
景 観 形 成 基 準	
形態・意匠	
<p>○色彩や素材は、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	
<p>○形態意匠は、周辺の主要な眺望点（道路、河川、公園など）からの見え方に配慮するとともに、周辺景観との調和を図る。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	
その他	
<p>○長大な壁面の工作物は避けるなど、圧迫感の軽減を図る。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	
<p>○擁壁は、壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図るなど、周囲と調和し、圧迫感を与えないようにする。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	
<p>○敷地内はできる限り緑化を行う。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	

工作物の高さ>60m 又は 築造面積>30,000㎡ の場合は以下の景観形成基準を加える。

形態・意匠

○色彩は、別表3の色彩基準に適合するとともに、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。(ただし、コースターなどの遊戯施設で、壁面と認識できる部分をもたない工作物を除く。)

上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。

記入欄

その他

○周囲の公園や道路、河川などから見たときに、圧迫感を感じさせないように、隣棟間隔を確保し、長大な壁面の工作物は避ける。

上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。

記入欄

○斜面地への設置を避ける。

上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。

記入欄